

1	名 称 (予 算 事 業 名)		鈴鹿市 P T A 連 合 会 活 動 補 助 金											
			予 算 事 業 名		青少年対策諸費									
			予算事業コード		00942									
2	交 付 開 始 年 度		昭 和	51	年 度	創 設 か ら 50 年 度 目			3	終 期	令 和	7	年 度	
4	分 類		事業費補助						5	所 属		教育支援課		
6	根 拠 法 令		鈴鹿市補助金等交付規則、鈴鹿市補助金等交付要綱											
7	事 業 の 目 的 ・ 概 要		学校や家庭、地域での子どもの健全育成に取り組む鈴鹿市 P T A 連 合 会 の 活 動 に 対 し て 、 事 業 費 の 一 部 を 補 助 す る 。											
8	補 助 対 象 者		鈴鹿市 P T A 連 合 会											
	交 付 先 (補 助 対 象 者 と 異 な る 場 合)													
9	補 助 金 等	(単位:千円)	補助対象事業費 (A)	財 源 内 訳				補助率 (B/A)	補助対象事業費の繰越額 (C)	補助金に対する繰越金の割合 (C/B)				
			市 補 助 金 (B)	国 補 助 金	県 補 助 金	そ の 他								
			R4年度決算額	880	440	0	0	440	50.0%	0	0.0%			
			R5年度決算額	880	440	0	0	440	50.0%	0	0.0%			
			R6年度当初予算額	880	440	0	0	440	50.0%					
R7年度予算要求額	880	440	0	0	440	50.0%								
10	補助対象事業費の内訳 (具体的に記載)		【安全安心推進事業】 ○子どもを守る家関連費 (保険加入、ステッカー、プレートの作成) ○交通安全啓発物品作成費 (注意喚起看板等の作成) 【健全育成事業】 ○子育てに関する講演会や研修会に係る費用 ○ P T A 活動広報啓発に関する費用											
	補助金等の算出根拠 (具体的に記載)		補助対象事業費の1/2を補助											
	増 減 理 由		子どもの安全安心確保のため、増減なし。											

(2) 補助金等判断基準

11	総 合 評 価 点	19	12	適 否 の 評 価	継続
----	-----------	----	----	-----------	----

13	補助金等の判断基準	評 価 点	評 価 の 理 由		
	必 要 性	5	市内において、鈴鹿市 P T A 連 合 会 が 主 体 と な っ て 実 施 し て い る 「 子 ど も を 守 る 家 」 は 、 P T A の み な ら ず 、 地 域 全 体 で 子 ど も の 安 全 安 心 を 見 守 っ て い く 活 動 で 有 る 。 青 少 年 健 全 育 成 活 動 の み な ら ず 、 学 校 や 家 庭 で の 教 育 活 動 推 進 に 寄 与 し て い る 。		
		(減点)			
		0			
	公 平 性	4	市内のほぼすべての幼小中学校が加入している。(令和 6 年度 1 中学校脱会)		
効 果 性	5	【評価の理由】 小学校単位で、子どもを守る家の募集を行い、地域全体で活動を広げており、子どもたちの見守りと安全安心に効果は高い。			
		【補助金等の交付により得られる効果・実績・目的の達成状況 (具体的に記載)】 子どもを守る家の確保を進めている。			
透 明 性	5	事業計画に沿った活動を行っている。P T A 会 員 か ら 会 費 を 徴 収 し 、 自 主 財 源 の 確 保 も 行 っ て い る 。			
	(減点)				
	0				

(3) 終期延長の理由 (終期を延長した初年度のみ記入)

前回終期 令和 6 年度

鈴鹿市全体のPTA活動を進める上で、必要不可欠な事業であるため。